



2022年9月期上半期  
**決算FAQ**

株式会社アンビスホールディングス

2022年5月16日

## 主要財務指標

Q 施設数/定員数

Q 稼働率

Q 売上高

Q 営業利益

## 運営体制

Q 採用

Q 入居促進

Q 開設

Q 本社集約体制

## 事業環境

Q マクロ環境

Q 新型コロナウイルス感染症

Q 競合

## その他

Q 地域医療再生事業

Q キャッシュ・フロー

Q IR活動

Q

今後、施設数/定員数はどのようなペースで拡大する予定でしょうか。

A

中長期目標として掲げている100施設/5,000名の早期到達に向けて、今後も年間13施設/650名の目安を超えるべく新規開設を継続します。

定員数について、1施設当たりの定員数は50名程度を基本としておりますが、70~80名規模の大型施設や他の介護事業者との連携による施設も年間1~2施設程度を目安に進めます。

Q

稼働率について、現状と今後の見通しを教えてください。

A

上半期は、首都圏の稼働率が高水準で推移し、全体として想定通りの稼働率となりました。但し、オミクロン株のまん延により、職員、入居者含め多くの感染者や濃厚接触者が出たことで、稼働率にマイナス影響がありました。

下半期の見通しとしては、地方での新規開設が多いことも踏まえ、引き続き、安定稼働の目安である80~85%を想定しております。

Q

上半期の売上高についてはどのように分析されていますでしょうか。

A

先述の通り稼働率が順調であったため、売上高も想定をやや上回る水準となりました。

なお、通期予想対比の進捗率は47.9%であり、通期の売上高については、当初予想からの重要な乖離は生じないと考えています。

今後も、施設数及び定員数の増加と稼働率の維持により、増収傾向を継続することを目指します。

Q

営業利益について、上半期の見解と今期の見通しを教えてください。

A

営業利益は、事業の拡大に伴い、基本的には継続して増加する見込みです。一方で、稼働率予測に基づく人員管理による人件費・採用費率のコントロールがどの程度奏功するかにより、四半期毎の営業利益率の水準は数%程度変動します。

第2四半期については、第1四半期対比で減益となっていますが、主に人件費、採用費の変動によるものであり、業績としては堅調に推移したと認識しております。

なお、下半期については、当初計画通り、3月、4月に人員を一括採用したため、人件費及び採用費が増加することを想定しております。

Q

採用状況について、現状と今後についてどのようにお考えでしょうか。

A

現状、職員の募集に対して多数のご応募をいただいている状況であり、その中から厳選した採用を行うことができます。さらに、派遣会社を利用していない点や、介護士は紹介会社を利用していない点も、高い採用力の証左と考えております。

しかしながら、業界全体としては人手不足の状況であり、今後も施設数の拡大/高稼働の継続を実現するために採用体制の強化を推進してまいります。

また、人材の流動性が高まる3月、4月には、新型コロナ対策を踏まえ、看護師の一括採用を実施いたしました。

Q

入居促進状況について教えてください。

A

当社は、入居者の主な紹介元である地域の病院に対して、ビジネスモデルを含めた社会的意義を周知することを通じ、入居者獲得のための営業活動を行っております。

実際に、医心館の入居者の大半は、病院等の医療機関からのご紹介であり、いわゆる紹介会社経由のご入居はごくわずか（月に数名程度）です。このことは、当社が地域医療のニーズを的確にとらえ、効果的な営業活動を実践していることの表れであると考えております。

高水準の稼働率を維持するために、今後も営業活動を継続して強化いたします。



Q

施設の開設状況及び今後の開設戦略について展望を教えてください。

A

昨年度までに東日本の大半の地域に進出を済ませており、今期は既進出地域での開設、特に首都圏でのドミナント形成の加速を進めております。

今後も首都圏/地方にバランスよく展開する方針であり、地方においても同一県内での複数施設の開設を積極的に進めます。

また、来期開設予定の医心館 東札幌のように、新たな地域での開設や、他の介護事業者との連携による開設も継続して推進してまいります。

Q

現状の管理体制と今後の方針はどのようにお考えでしょうか。

A

本社集約型の管理体制の下、当期に見込んでいる年間16施設の新規開設/全国58施設の運営を担う本社機能として、現状の管理体制は質量ともに問題ない水準にあると認識しております。

一方、今後も施設数の継続的な増加が見込まれるため、それに伴って本社機能を継続して強化する必要があると認識しており、中期経営計画の前提通り、本社人員の採用を強化する方針です。

Q

木材、エネルギー資源を取り巻くマクロ環境の医心館事業への影響について教えてください。

A

新型コロナウイルス感染症や不安定な国際情勢の影響を受け、木材、エネルギー資源の供給不足、価格高騰が長期化する可能性が生じております。

当社の施設は、重量鉄骨造、RC造の他、木造の施設もありますので、23年4月以降に開設を予定している木造施設の建築価額については影響を受ける可能性があります。

但し、建物は個々の耐用年数（20年～34年）にわたって費用配分するため、今後数年間の業績への影響は軽微と考えております。

Q

新型コロナウイルス感染症の医心館事業への影響について教えてください。

A

第2四半期においては、年末年始以降のオミクロン株まん延の影響を受け、一部施設において、感染拡大により新規の入居受け入れを数日間停止する事態が生じました。近隣施設での受入を行う等の対策を講じたものの、稼働率にマイナスの影響がありました。

また、従来より新型コロナウイルス感染症対応として増員体制を継続していることに加え、第2四半期においては職員の陽性者も増加したため、他拠点へのサポートなどによるコスト増等の影響もありました。

Q

医心館が、一般的なホスピスと異なり、在宅での療養が困難ながん患者を中心に受け入れているにも関わらず、大規模な施設運営や地方都市での運営ができる理由を教えてください。

A

当社は、ケアを提供する職員/周辺の医療機関へ入居促進活動を行う職員は優秀な看護師や介護士であることを重視しており、強固で質の高い体制整備によって、多数の入退去がありながらも高稼働率を維持した運営が出来ているものと認識しております。

したがって、優秀な看護師や介護士が、在宅での療養が困難ながん患者に対して質の高い医療的ケアを実施することで、一般的なホスピスよりも大規模な施設運営や、地方都市での事業展開が可能となっております。

Q

地域医療再生事業について動きはございますか。

A

地域医療再生事業については、2020年設立の子会社「株式会社 明日の医療」を主体として、医療機関や介護施設との連携により、地域医療の強化・再生に貢献したいと考えております。

しかし新型コロナのまん延により、現状は医心館の展開を優先している状況です。具体的な時期は医療機関を取り巻く事業環境を踏まえての判断になりますが、今後適切なタイミングで事業として構築していきたいと考えております。

Q

フリー・キャッシュ・フロー（＝営業CF－投資CF）がマイナスとなっていることについて見解を教えてください。

A

当社は、成長性を維持しながら事業拡大を進めるステージにあると認識しており、自社建築を中心に積極的な開設を進めていることから、多額の投資支出が発生しております。

現状、フリー・キャッシュ・フローがマイナスとなることはやむを得ないものと考えておりますが、医心館事業の高収益性を踏まえ、フリー・キャッシュ・フローは着実に改善しております。

今後も、足許のスピード感を落とすことなく新規開設を進めることに変わりはありませんが、早期にフリー・キャッシュ・フローを黒字化できるよう取り組んでまいります。

Q

IR活動の状況について教えてください。

A

個人投資家に対しては、説明会を年に2回以上の頻度で開催する等の取り組みを実施しており、中長期的な企業価値向上に向けて、株主・投資家の皆様との建設的な対話を継続・強化しております。

アナリスト・機関投資家に対しては、決算説明会の開催や各種カンファレンスへの参加のほか、四半期毎に60~80件程度の個別面談も行っております。なお、個別面談を実施する機関投資家のうち半数以上を海外投資家が占めております。

また、ホームページの他、Twitterでの施設に関する情報発信も積極的に進めております。



本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、当該記述のために、一定の前提を使用しています。当該記述または前提は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ございますが、詳細は、当社の決算短信、有価証券報告書をご参照下さい。なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

## 【お問い合わせ先】

株式会社アンビスホールディングス 財務部（IR担当）

電話：03-6262-5085 / Email：ir\_contact@amvis.co.jp